

高知県方式

旅費業務のアウトソーシングのご紹介

陸路旅行支援からフルアウトソーシング導入まで

平成19年1月から全ての旅費種別で本格的に適用しています

「高知県方式」の旅費業務のアウトソーシングとは...

従来の旅費システムは、公共交通機関の路線や運賃体系の多様な変動に即応できず、職員が出張する際の旅程の作成や旅費の計算に膨大な時間を費やしていました。また、実費支給と定額支給とが混在する旅費制度の下で、複雑な旅費の調整にも完全に対応できなかったため、システムで作成した旅行命令簿であっても、職員による審査を経なければなりません。そこで、新しい旅費システムは、旅費事務全体を民間の旅行会社にアウトソーシングする枠組みで、経済的で合理的な旅程の作成や旅費の計算、これに基づく効率的なチケットの手配に加え、専門のスタッフが旅費の特殊な調整や、精算審査と支払い、旅行命令簿の保管までを行う独自の仕組み（＝旅費事務センター）を整えました。平成19年1月からの全面的なアウトソーシングにより、簡素で効率的な旅費の制度と事務の流れを同時に実現し、職員の旅費に関する事務負担の軽減はもちろん、旅費額の削減や人員削減の面でもプラスの効果が出ています。

「高知県方式」の旅費業務のアウトソーシングを構成する主要機能

旅行者自身による旅行命令簿の作成

システムとスタッフ併用によるデータ処理

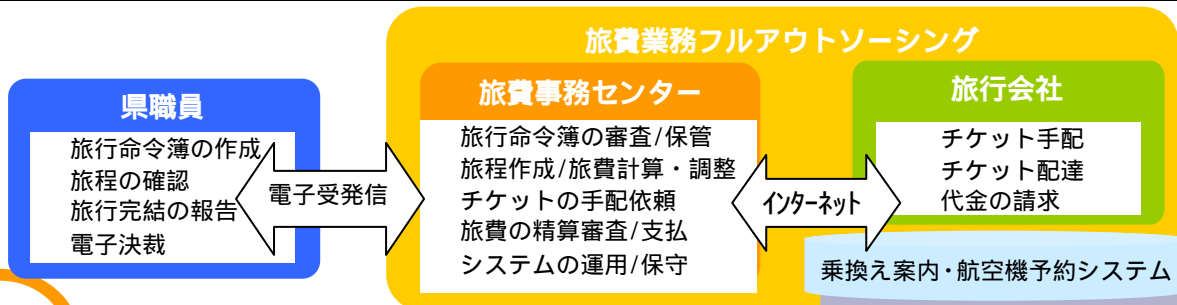
実費支給への一元化/チケットの手配

乗換え案内・航空機予約システムとの連携

電子決裁/GIS(車賃計算)による旅行支援

スタッフによる正確な支払い等の事務処理

アウトソーシングイメージ



導入効果

旅費額を年間1億円以上削減（実費支給化/日当・日額の廃止等）
システム導入から公金の支払い事務、旅行命令簿の保管を含めた旅費事務の一括委託
対象：知事部局、教育委員会（小中学校含む）、議会事務局、警察、公営企業局
旅費審査に関わる県職員の削減（5名）と職員の旅費に関わる作業量の大幅な軽減

参考：高知県における年間旅行規模（平成16年度/旅行者数実績）
普通旅費（約17万人）、外国旅費（100人）、赴任旅費（約1,000人）、研修旅費（41人）

導入パターン

高知県同様フルアウトソーシングしたい

部分的に高知県方式を導入したい

県内市町村にASPとして提供したい

導入までのノウハウを是非参考にしたい

etc

お気軽に
お問い合わせ
ください

フルアウトソーシング型導入

セミアウトソーシング型導入

各種の旅行支援機能の一部利活用

アウトソーシング化のコンサルティング

etc

（お問い合わせ先）高知県庁総務部業務改革推進室 担当 吉村

TEL：088-823-9089 Mail：112601@ken.pref.kochi.lg.jp

<http://www.pref.kochi.jp/~gyoukai/index.html>